

ほっかいどうの社会保障

2007年11月26日

北海道社会保障推進協議会

「後期高齢者医療制度は中止・撤回を」の声を 政府・国会へ届けようへ

80人を超える傍聴者が見守る中

22日、道広域連合議会が保険料決定

22日に国保会館会議室で開かれた広域連合議会には、80人を超える傍聴者が詰めかけ、審議の状況を見守りました。10時から始まった議会は午後5時前まで約6時間行われました（前回、2時間）。

この間、合計4万4千筆の署名を提出してきたこと、パブリックコメントに300人以上の道民が意見を寄せたことが大きな力となって、「広域計画」「条例」を改善させることができました。



道民の世論で大きな成果に

★道社保協・勤医協北区友の会が計20分間にわたって意見陳述

年金者組合道本部委員長の渡部務さん・北区友の会長の西口理恵子さん・道社保協の甲斐事務局長が意見陳述を行いました。

★国・道へ「財政支援を」「高齢者への周知徹底を」意見書採択

★運営協議会へ公募委員採用へ

来年度設置予定の協議会に公募委員(当事者の参加)採用の方向が示されました。

★保険料は、当初案より1万円以上低減、低所得者に配慮した保険料設定に

特に、年金120万円以下の方々の保険料(所得割)が低く抑えるために、特段の努力をして、国庫負担を増やさせることができました。

開会前に、会場前で傍聴者がアピールを行いました。
(寒風吹きすさぶ中、鼻をすすりながらがんばりました)

12月1日は

全道国保改善運動交流集会

13:30~17:30 菊水ビル

来年度は後期高齢者医療制度、特定健診など、国保制度が大きく変貌する可能性があります。「札幌国保110番」20年の教訓に学んで、各地の運動を前進させる契機としましょう。

記念講演「札幌国保110番の20年から学ぶこと」 細川 久美子 道生連副会長

公立病院「広域化」案・・・

北海道の地域医療を考えるつどい

18:00~ かでの2.7

38の自治体病院を縮小する道「広域・集約化」案が発表され、住民から不安の声があがっています。自治体・医療労働者が住民と一体になって、どう立ち向かうのか、考える集会です。

報告 北 良治 奈井江町長 大橋 晃 前道議 金川佳弘 自治労連